



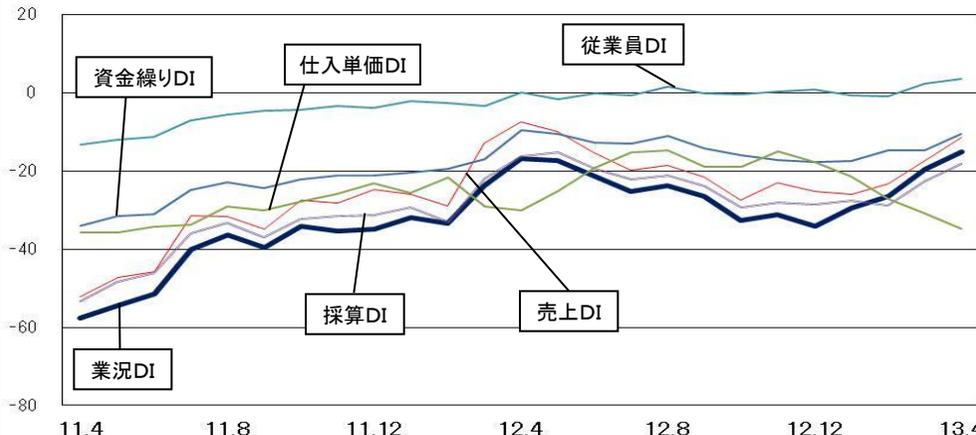
業況DIは、4カ月連続の改善も、仕入価格上昇を懸念

ポイント

▶4月の全産業合計の業況DIは、▲15.2と、前月から+4.5ポイントの改善。円安・株高が続く中で、企業や消費者のマインド改善は一段と進んでおり、建設業や輸出関連企業などを中心に持ち直しの動きは継続している。しかし、足下では、売上が改善しているものの、燃料(原油、ガス)や原材料、電力料金などのコスト増により、収益に結びつかない企業が多く、景気回復への実感が乏しいとの見方も根強い

▶先行きについては、先行き見通しDIが▲9.6(今月比+5.6ポイント)と、大幅に改善する見込み。燃料や原材料、電力料金などのコスト負担が増す中で、価格転嫁に苦慮する中小企業からは、先行きを懸念する声が多いものの、円安・株高を背景に、好調が続く建設業や輸出関連企業、持ち直しの動きを強める個人消費が下支えし、回復基調は続くと思われる

LOBO全産業合計の各DIの推移(2011年4月以降)

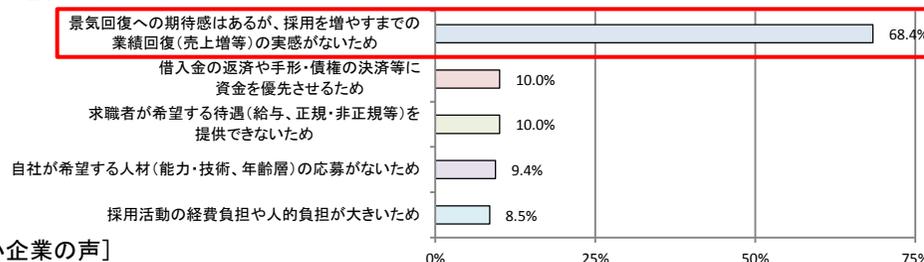


現在の人手過不足感と2013年度の採用活動について

- ▶現在の人手過不足感について「不足感がある」とする企業(全産業)が23.5%。「人手は適当」とする企業は63.5%。
- ▶人手不足感がある企業(全産業)のうち、採用活動を行う(予定含む)企業は74.7%。正規社員の採用に積極的な姿勢がみられ、採用数も昨年度より増やす企業が半数を超える
- ▶一方、人手は適当とする企業(全産業)のうち、採用活動を行う(予定含む)企業は36.7%。正規社員の採用数は昨年度並みとする企業が大半を占める

- ▶採用活動を行わない理由は、「景気回復への期待感はあるが、採用を増やすまでの業績回復(売上増等)の実感がなくため」が68.4%と最も多い。以下、借入返済など採用以外の目的への資金活用の優先や、「求職者が希望する待遇を提供できない」、「自社が希望する人材の応募がない」などの求職・求職者間のミスマッチ、採用活動に係る経費や人的負担が続く

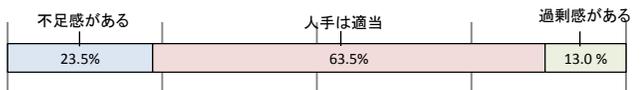
◆採用を行わない理由



[中小企業の声]

- ▶応募はあるが、希望する技術水準にある人材の応募はほとんどない(札幌 電気通信工業業)
- ▶高齢者雇用安定法改正により、新卒採用は抑制せざるを得ない(糸魚川 自動車整備業)
- ▶公共事業予算が次年度以降も今年度並みに計上されるか不明なため、正規社員の採用に踏み切れない(金沢 建築工業業)
- ▶円安傾向によりスピードは鈍化したものの、取引先の海外生産重視の流れは変わらない。輸入部品価格は上昇しており、売上の大幅な増加がない限り雇用の拡大は困難(本庄 自動車部品製造業)
- ▶本格的な景気回復には至っていない。採用はせず、人員は現状を維持(横浜 商店街組合)
- ▶新卒の薬剤師は大手企業・大都市志向が強く、地方での採用は困難(唐津 ドラッグストア)

◆現在の人手過不足感について



◆2013年度の採用について

一人手不足感がある

<2013年度の採用>
現段階では採用するか
わからない
採用は行わない
採用を行う 74.7%

<採用の内訳> [複数回答]
正規社員を採用 80.3%
非正規社員を採用 37.3%

<正規社員の採用数について>
昨年度より採用数を増やす 53.8%
昨年度並みの採用数の予定 34.2%
昨年度より採用数を減らす 1.6%
現段階ではわからない 10.3%

一人手は適当

<2013年度の採用>
現段階では採用するか
わからない
採用は行わない
採用を行う

<採用の内訳> [複数回答]
正規社員を採用 84.4%
非正規社員を採用 29.9%

<正規社員の採用数について>
昨年度より採用数を増やす 32.2%
昨年度並みの採用数の予定 56.2%
昨年度より採用数を減らす 3.9%
現段階ではわからない 7.8%